

県西地区における装具連携について

日時：2018年10月5日（金） 18：30～20：30（18:00～受付開始）

場所：小田原会福祉センター 第1・2会議室

内容：

『はじめの挨拶』18:30～18:40

国際医療福祉大学 右田正澄先生

『脳卒中患者に対する装具療法について』18:40～19:40

千里リハビリテーション病院 副院長 吉尾雅春先生

『県西地区における装具連携についてグループワーク』19:50～20:30

急性期、回復期、生活期の病期別にグループを作り、各グループで困っていること、吉尾先生に質問したいことなどを発表

『おわりの挨拶』20:30～20:40

竹田整形外科クリニック 梅田裕貴先生

『吉尾先生と脳卒中のリハビリテーションについて語る会～懇親会～』（希望者のみ）

21:00～ 小田原駅周辺

参加費：

-シンポジウム

県西地区リハビリ連絡協議会会員 - 500円、非会員 - 3000円、学生 - 無料

※1：翌10/6の1dayセミナーも合わせてご参加の場合、両日で

会員 - 3000円、非会員 - 6000円、学生 - 無料

※2：学生の方は学生証をお持ちください

-懇親会：5000円

定員：約60名

※作業療法士の方はSIG団体認定ポイントが取得できます。参加証を発行します。

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申しあげます。

さて、このたび神奈川県西地区リハビリテーション連絡協議会主催のシンポジウムを開催いたしますので、ご案内申し上げます。

2015年の脳卒中治療ガイドラインでは早期からの装具を用いた歩行訓練が推奨されており、装具療法は急性期から生活期まで重要な位置付けとなっています。一方、装具療法に対する考え方は病院、職種間だけでなく、同じ理学療法士や作業療法士においても考え方が異なる現状ではないでしょうか。このような状況では正しく装具を用いることはおろか、装具療法に関する病院、施設間での連携は困難だと思います。そのため、今回は吉尾雅春先生に、脳卒中患者の装具療法についてご講演をお願いさせて頂きました。講演を通じて、装具療法の共通認識を作っていきたいと考えております。

その上で、病期別にグループを作り、それぞれの立場から現在の課題、困っていること、吉尾先生に相談したいことを発表し、他のグループや吉尾先生から意見をもらうようなグループワークを企画

しています。

昨年度に開催したシンポジウム（脳卒中者の治療用装具と更生用装具を理解する）に参加して頂いた方はもちろん、昨年より一歩前に進んだディスカッションができると考えておりますので、理学療法士や作業療法士に限らず装具に関わる全ての医療従事者の皆様の参加をお待ちしております。

なお、10月6日には1dayセミナーとして、吉尾雅春先生に『脳卒中患者のリハビリテーションについて再考する』というタイトルで、理学療法士、作業療法士を対象としたセミナーを企画しております。装具療法を用いる理論的背景や臨床実践など、すぐに役立つ知識を得ることができると思いますので、奮ってご参加下さい。

申し込み方法：

下記の申込フォームのアドレスから必要事項を埋めてお申し込み下さい。

<https://kensei3.typeform.com/to/rOMwq8>

【小田原社会福祉センターまでのアクセス】



所在地 〒250-0055 小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館2階

新宿方面から：小田急線「新松田」で各駅停車に乗り換え「足柄」徒歩10分

小田原方面から（電車）：「小田原」より大雄山線「井細田」徒歩10分

小田原駅から（バス）：小田原駅 西口より伊豆箱根バス 「市立病院前」下車すぐ

駐車場には限りがありますので、必ず公共交通機関をご利用下さい。

問い合わせ先：

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 理学療法学科

右田 正澄 E-mail: m.migita@iuhw.ac.jp

〒250-8588

神奈川県小田原市城山1-2-25

TEL：0465-21-6724 (PT学科)

FAX：0465-21-6745 (PT学科)

<http://odawara.iuhw.ac.jp/>